

ジオメトリストの会（GMの会）

『測量・地理空間情報イノベーション大会 2026』 GM セッション

■三次元計測コンサルタントへの道

～3D ガウシアンスプラッティング（3DGS）は測量を変えるのか～

対面開催：2026年7月1日（水）

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター

オンデマンド配信：7月21日（火）～8月18日（火）

測量・地理空間情報イノベーション大会 2026 において、昨年に引き続き『三次元計測コンサルタントへの道』をテーマに、現在注目されている「3D ガウシアンスプラッティング」に関する講演とパネルディスカッションをメイン会場の大ホールにて行いました。



総合司会：今井 友桂子（ジオメトリストの会 代表委員 エアロトヨタ株式会社）



開会挨拶：小川 忠利（ジオメトリストの会 会長 国際航業株式会社）



第1部 講演1：『3D ガウシアンスプラッティングの基礎理論と最新動向』
—測量分野への応用と可能性—



日本大学理工学部 李 勇鶴 氏

講演2：『3DGS の活用例と将来展望』



株式会社 exAgent 中山 智博 氏

第2部 事例発表&パネルディスカッション

事例発表1：『複合活用が拓く 3DGS の可能性 点群×写真×XR×AI』



株式会社ホロラボ 藤原 龍 氏

事例発表2：『ドローン活用によるインフラ点検と計測事例』



アジア航測株式会社 下川 光治 氏

パネルディスカッション：





モデレータ：日當 卓也（ジオメトリストの会 副会長 ESRI ジャパン株式会社）



パネリスト：左から李勇鶴氏、中山智博氏、藤原龍氏、下川光治氏

閉会挨拶：山崎 廣二（ジオメトリストの会 副会長 アジア航測株式会社）

